

ごみごみ通信

『ごみごみ通信』発刊

副院長 兼 中央診療部長
池田 正人



この度金沢市立病院地域連携室より、高齢者の介護・生活支援が円滑に行えるように介護を担当される施設にむけて地域連携室通信を発刊することとなりました。

高齢者の方が増加することにより厚生労働省では医療・介護予防、住まい・生活支援が一体的に提供される包括ケアシステムの構築を地域の実情に合ったものとなることを目指しています。今年度の

診療報酬改定でも重点課題として、在宅医療を担う医療機関の確保と質の高い在宅医療の推進、医療機関相互の連携や医療・介護の連携の評価があげられています。

従来、金沢市立病院地域連携室として、当院に入院、あるいは通院している方に対して、かかりつけ医の先生と協力してよりよい医療が提供できるように活動して参りました。今後さらに在宅に戻られた方々も安心した生活を送ることが出来るように介護や生活支援を担当される方々とも、より密接に連絡を取れるようにして参りたいと思っております。

まず『ごみごみ（コミュニティ（共同体） & コミュニケーシ

ョン（交流）通信』を発行し、皆様に当院の取り組み等を知っていただき、今後、地域の高齢者の方々のためにより良いケアシステムの構築がなされていくように協力して参りたいと考えています。



コミュニティ&コミュニケーション

金沢市立病院 地域連携室通信
平成二十六年六月 第一号
発行 地域連携室



「結核」出張講習会

地域連携室副室長 兼 看護副部長

長谷川 真由美



「結核」について出張講習会を行っております。

当院では、「呼吸器内科医師と感染管理認定看護師」による「結核に関する出張講習会」を行っております。この講習会は、地域の医療機関・介護施設等に勤務されている職員の方々の結核に対する知識

や感染防止について理解を深めていただくことを目的として開催しています。

3月に2カ所の療養型病院を訪問し出張講習会を開催しました。看護職や介護職の方にご参加いただきました。参加された方々からは、「安心して患者さんを見ることができる」や「内服薬の継続が大切であることがわかった」、「どのようにして薬を飲んでもらうかを知ることができた」などのご意見をいただいています。

講習会開催をご希望の際は、地域連携室までご連絡ください。

【結核出張講習会概要】
 ▲日時▼
 ご希望の施設の都合のよい日時を調整いたします。
 ▲時間▼
 30分程度
 ▲場所▼
 当院からご希望の施設に当院スタッフが伺います
 ▲内容▼
 結核の知識と感染対策及び看護のポイント等

「地域連携室」紹介

当院地域連携室は医師1名、看護師3名、メディカルソーシャルワーカー2名、事務6名の計12名の職員により、地域の診療所、介護施設等との連携・調整、退院支援、医療福祉相談等を行っております。

こみこみ通信は、在宅支援の部門を持たない当院が、地域で看護や介護を担う皆様と日々情報の共有（コミュニケーション）を図りながら、一つの共同体（コミュニティ）として、この地域に住む方々を包んでいきたいと考え、その第一歩として発行を始めることとしました。

この通信が皆様との意見交換の場となるよう、今後とも皆様の意見をどんどん地域連携室へお寄せください。お待ちしております。



「地域連携室スタッフ一同」



お問い合わせ・ご予約などお気軽にご連絡ください。

金沢市立病院地域連携室

電話：二四五―二六二六

ファックス：二四五―二六九三